

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
長洲西地区

令和2年4月

熊本県長洲町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	フェリー利用者数	人/年	851,305	868,000	900,190	確定 ● 見込み ○	○	あり - なし -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	長洲港周辺の整備により、周辺地域の景観の改善及び魅力・賑わいが創出され、利用者の増加に繋がった。
指標2	観光交流センターの利用者数	人/年	196,418	208,000	179,758	確定 ● 見込み ×	×	あり ● なし	198,042	R2年4月	△	2月末時点において209,000人を超える見込みであったが、新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント中止等の影響で、3月の施設利用者数が大きく減少し、目標達成には至らなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域資源の活用により、施設の魅力が向上し、利用者の増加に繋がった。目標値は達成していないが、成果は得られた。
指標3	金魚と鯉の郷広場の利用者数	人/年	204,233	306,000	332,745	確定 ● 見込み ○	○	あり - なし -				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	街路環境及び情報板の設置により、地域住民及び観光客の回遊性の向上が図られた。加えて、金魚と鯉の郷広場内トイレ・ベンチ等の整備により、施設環境が向上し、利用者の増加に繋がった。
指標4						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	金魚の町としての認知度	%	52.6	/	68.0	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	金魚の館内で行ったアンケート結果において、約7割の回答者が「長洲町が九州一の金魚の生産地と知っている」と答えている。加えて、約2割の回答者が「初めて金魚の館に来館した」と答えており、地域資源(金魚)や金魚の館等への関心が高まった。
その他の数値指標2	金魚の館の金魚の展示数	種類	17	/	28	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	提案事業において、観光交流センターに町の特産品である金魚の展示設備を整備したことで、金魚の館の金魚の展示数(種類)が増加し、地域資源(金魚)の魅力向上に繋がった。
その他の数値指標3						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	住民による賑わいの形成	・各種イベントの実施、イベント情報のPR ・軽トラ市の実施 ・ものづくり教室の実施	・地域資源の掘り起こしや活用、イベント等の開催による住民による賑わいの創出が図られた。	引き続き各種イベントの企画、PR活動の強化を図り、賑わいの創出を図る。
	整備箇所での適正な維持管理及び補修点検	・施設の維持管理、定期点検の実施 ・消防用設備の改修、木製遊具の修繕等の実施	・適正な維持管理により、安心して利用できる状態が保たれた。	引き続き整備箇所での適正な維持管理に努める。また、街路設備や誘導サイン等に破損がある場合、適宜補修を行う。
	金魚と鯉の郷広場の利用促進	・各種イベントの実施、イベント情報のPR ・まちづくり団体によるフリーマーケットの実施	・地域資源の掘り起こしや活用、イベント等の開催による住民による賑わいの創出が図られた。	引き続き各種イベントの企画、PR活動の強化を図り、賑わいの創出を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	金魚の館の利用促進	・くまもとフリーWi-Fiの整備	・住民、観光客等の憩いの場、観光交流拠点としての機能が上がり、賑わいの創出およびサービスの向上が図られた。	若い世代のまちづくりへの参加を促進するようなソフト事業を展開し、施設の魅力向上および賑わいの創出を図る。
	荒尾干潟との連携による観光振興	・広域観光マップの作成 ・金魚と鯉の郷広場を起点にしたウォーキングコースの作成	・広域連携による観光振興の促進が図られた。 ・長洲港、長洲駅、金魚と鯉の郷広場を結んだウォーキングコースの作成により、回遊性の向上が図られた。	遊歩道やサイクリングコースなどの環境整備を検討し、更なる荒尾干潟との連携強化を図る。
	長洲駅周辺の環境整備	・長洲駅看板(観光案内看板)のリニューアル	・長洲駅の環境整備、魅力向上が図られた。	引き続き長洲駅周辺の整備箇所を検討する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

ながすにし  
長洲西地区

くまもと  
熊本県

ながすまち  
長洲町

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	ながすまち 長洲町	地区名	ながすまち 長洲西地区	面積	940 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
交付期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度

### 目標

#### 大目標 有明海と人、自然、観光、文化が織り成す「みなとまち」づくり

- 目標1 長洲港周辺の賑わいを創出し、人が集まる賑わいの場の形成を図る
- 目標2 地域資源を活かした「みなとまち」らしい景観を楽しむ場等の創出を図る
- 目標3 地域住民が楽しみ、憩い、健康的なみなとまちづくりを推進する

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・長洲町は、昭和32年に旧長洲町と旧腹栄村が合併し、長洲町が誕生してから50年以上が経過しており、豊かな自然環境と恵まれた立地条件を活かし、社会基盤の整備や福祉サービスの増進など、住みよいまちづくりを推進している。
- ・昭和39年には、新産業都市の指定を受け、臨海部の埋め立てによる工業団地造成を進め、造船、サッシ産業等を中心に大型企業が立地している。
- ・長洲町の重要な産業である水産業については、海苔養殖業や金魚養殖等が柱であり、特に金魚産業は全国的に有名であり、金魚に関する各種イベントや交流施設である「金魚と鯉の郷」の整備を行い、長洲町の名産ブランドを広めている。
- ・長洲町の海の玄関口である長洲港は、臨海部に大型企業が立地し、長崎県と熊本県を結ぶ有明フェリーも運行しており、アクセス性も国道501号線と接続し、九州の真ん中に位置する地理的要因も含め、交通アクセスの要所として多くの人が利用している。
- ・都市計画街路長洲・玉名線の整備や港機能を高める長洲港湾整備が進められており、その整備に伴い地域の賑わい創出や魅力づくりが求められている。
- ・今後有明海沿岸道路等の広域プロジェクトに運動した町の活性化を図ることが求められている。

#### 課題

##### ① 長洲町の産業と連携した港周辺整備促進

工業・商業・農業・水産業等の連携強化を図り、交流拠点として長洲港周辺を活性化させる必要がある。

##### ② 臨海部の基盤整備とフェリー周辺環境整備促進

長洲町は臨海部に多くの企業が進出しており、臨海部の工業地でのポテンシャルは高いため、基盤整備とともに港のフェリーや周辺環境の利用促進を図る必要がある。

##### ③ 長洲港を起点とした交流人口の増加推進

九州新幹線の開通による九州縦軸と横軸の連携(新玉名駅と長洲港の接続)による交流人口の増加や地域活性化に活かしていくことが必要である。

##### ④ 広域観光へ長洲港の役割強化推進

県境連携観光推進協議会の動向を注視しつつ、熊本県と長崎県との広域観光ルート確立のための長洲港の役割を強化していく必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

- ・第5次長洲町総合振興計画(平成23年3月)では、「快適な暮らしができる安心のあるまち」としてJR九州や有明フェリーなど町内外の公共交通を活かし、近隣市町をはじめ他の地域の観光資源と長洲町の観光資源をつなぐ広域観光ルートの確立に向けた観光振興に取り組むとしている。また、的ばかい、のしこら祭、金魚と鯉の郷まつりなど町及び各主体で行われるイベントを継続して推進・支援し、長洲町商工会、企業、生産者などの活動に係る地域資源を魅力ある観光資源として連携・発掘し、町外からの観光客の招致に努め、賑わいのあるまちづくりに取組む。
- ・長洲都市計画区域マスタープラン(平成24年3月)では、『長洲港周辺を交流拠点として位置付け、周辺道路網の充実を図り、効率的で機能的な交通結節点の形成を促進する』こととしている。道路網の整備にあたっては、『自動車や歩行者の安全な通行に配慮した幹線道路や生活道路』の適正配置に努めるものとしている。
- ・有明海フェリー航路地域公共交通総合連携計画(素案)(平成22年3月)では、広域観光ルートの造成(大分・熊本・長崎の中九州観光軸の形成)、サイクルアイランドの促進(通勤客等の前後の自動車利用から自転車利用への転換)、観光情報等の発信や案内誘導の充実、地域住民レベルのスポーツ及び文化活動による交流イベント事業の開催があげられている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
(目標1に対応する指標) フェリー利用者数	(人/年)	有明フェリーの年間利用者数	長洲港周辺の賑わいを創出するために、長洲港周辺の整備を行うことで、長洲港とその周辺の魅力を向上し、まちへの来訪者を増加させるとともに、フェリーの利用者を増加させる。	851,305	平成24年度	平成30年度
(目標2に対応する指標) 観光交流センターの利用者数	(人/年)	観光交流センター(新規)の利用者数	長洲港周辺から金魚と鯉の郷広場へのアクセス強化を図るとともに、当該施設内の金魚の館などに新たに観光交流センター機能を整備する。地域住民及び、通行車やフェリー等の利用者(観光客やビジネスマン、ツアー客等)等の広域の顧客をターゲットとする水産資源等を活用した観光施設としての機能向上を図ることで、交流人口を増加させる。	196,418	平成28年度	平成30年度
(目標3に対応する指標) 金魚と鯉の郷広場の利用者数	(人/年)	金魚と鯉の郷広場の年間利用者数	地域住民が楽しみ、憩い、健康的なみなとまちづくりを推進し、また、回遊性に富んだまちの形成を図るために、街路の整備や公園内の環境整備を行うことで、金魚と鯉の郷広場の利用者数を増加させる。	204,233	平成24年度	平成30年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1( 港・フェリー乗り場周辺整備プロジェクト ) ・情報板(案内板等)の環境整備を行い、地元住民やフェリー利用者等の回遊性の向上を図る。	・「地域生活基盤施設」基幹／情報板(サイン等整備事業)
整備方針2( 海辺で楽しむ観光交流センターの整備プロジェクト ) ・長洲港周辺から「金魚と鯉の郷広場」にかけて新たな町の交流拠点として観光交流センターの機能の向上を図り、交流人口を増加させる。 ・長洲町の水産資源特産品等を活用した料理により、地域活性化のPR活動を行う。	・「高次都市施設」基幹／観光交流センター ・「地域創造支援事業」提案／水産関連施設整備(観光交流センター)
整備方針3( 海辺を歩いて楽しむ散歩道整備プロジェクト ) ・街路や公園内にトイレ・ベンチ等の環境整備を行い、地元住民等の憩い空間の整備を行う。 ・情報板(案内板等)、緑化施設(街路灯等)の設置・改良を行い、散歩道の機能向上を図る。	・「公園事業」基幹／金魚と鯉の郷広場内トイレ・ベンチ等整備事業 ・「地域生活基盤施設」基幹／情報板(サイン等整備事業) ・「地域生活基盤施設」基幹／緑化施設等(街路灯整備事業)
その他	

